

小学校教員資格認定試験対策講座[全科]



※マークの見方については2ページをご覧ください

小学校教諭を目指す方を対象とした「小学校教員資格認定試験」の合格を目指した対策講座です。小学校教員資格認定試験とは、『小学校教諭二種免許状』の授与を受けるための資質を審査する認定試験です。これは国公立小学校で教師として働くために必要な資格です。小学校教員資格認定試験は教員採用試験と重複するところが多い試験内容となっている為、後の教員採用試験対策にもなります。

本講座では、1次試験で課せられる小学校各教科の頻出項目をピックアップしながらの分かりやすい解説で講義を進めていきます。

- 教員採用試験の小学校教諭は低倍率なので、グッと採用に近づきます。
- 複数免許を持っていると、採用時に大変有利になります。
- 教員採用試験と重複するところが多く、教員採用試験対策にも役立ちます。



日進キャンパス

講座回数 90分 × 21 コマ 1~3 時限

◆日 程

月	日
2	16 (木)
	17 (金)
	20 (月)
	21 (火)
	22 (水)
	23 (木)
	24 (金)
	27 (月) 予備日

■学習科目

- 国語③ 社会③
- 体育③ 図工③
- 音楽③ 家庭③
- 生活③

※カリキュラムは仮日程です。講師の都合で変更になる場合があります。
※日程等詳細は、決定次第揭示致します。

講座申込方法 (バピルスにて) は P11 を参照

講 座 説 明 会	第1回 9/23(金) 第2回 9/26(月) 第3回 12/15(木)
昼休み 5~5時限目	
入 金 締 切	1/30(月)
最小開講募集人数	50名
受 講 料	18,000 円 (テキスト代別)
テ キ ス ト	3,800 円(税込) 2018 年度 オープンセサミ参考書 小学校全科 2017 年度 出題科目別 過去問題集 小学校全科 受講料払込時に同時徴収します。

将来活かせる業界・業種・職種

- 小学校教諭 (別に採用試験があります)

検定試験ガイド

資格名 小学校教員

◆検定試験実施団体 文部科学省

※試験の詳細についてはホームページをご覧ください。

受験資格	大学 (短期大学含む) に 2 年以上在学し、且つ、62 単位以上を習得した者及び高等学校を卒業した者並びにこれらの者と同等の資格を有すると認められる者
試験科目	第1次試験 (筆記試験採一式) ①教職に関する科目Ⅰ (教職教養) : 教育原理、教育心理学、特別活動、生徒指導等教職に関する専門的事項 → P21 の教職教養対策を合わせて受講ください ②教職に関する科目Ⅱ (小学校全科) : 小学校の各教科の指導法及びこれに付随する基礎的な教科内容 (音楽・図工・体育のうち 2 教科以上を含む 6 教科を 9 教科 (国語・社会・算数・理科・音楽・図工・体育・家庭・生活) の中から選択 → 本講座で対策をします 第2次試験 ①教科に関する科目 (論述式試験) : 小学校の各教科に関する専門事項 (9 教科の中から 1 教科を予め選択して受験) ②教職に関する科目Ⅲ (実技試験) : 音楽・図工・体育のうち、第1次試験において受験した科目 2 教科を選択 ③口述試験 ※教員免許取得者は免除 第3次試験 ①指導の実践に関する事項に係る試験 (現場研修・実習) 小学校教員として必要な指導の実践に関する事項
受験手数料	14,600 円 (年度によって改定されることがあります)
試験日程	年 1 回 1 次試験 / 9 月上旬の土日 2 次試験 / 10 月中旬の土日 3 次試験 / 11 月中旬から下旬

担当講師からのアドバイス

小学校教員資格認定試験は、択一式試験型の 1 次試験と論述式試験型の 2 次試験、そして指導の実践に関する最終試験と 3 次試験まで実施されます。但し、3 次試験で落とされる受験生はほとんどいないことから、実際には 1 次試験と 2 次試験の 2 回の試験対策が必要ということになります。試験の具体的内容ですが、1 次試験では教職教養と小学校全科の知識が問われます。2 次試験では小学校全科の知識と実技 3 教科の実技能力が問われます。また、1 次試験は択一式ですが、2 次試験は論述式により、より深い知識が要求されます。教員大量採用時代を象徴する小学校教諭の教員採用試験倍率は、東海 3 県 (市) で見ても、愛知県 (3.5 倍)、名古屋市 (3.2 倍)、岐阜県 (3.1 倍)、三重県 (3.7 倍) (平成 28 年度) とかなりの低倍率となっていて、小学校教員を目指すなら「今」がまさに絶好のチャンスです。

講座運営 東京アカデミー